

2022年度 学校法人 三幸学園 東京保育医療秘書専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 高橋 タ子

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- ・学校方針「一緒に仕事をしたい人材を育てる」という目標のもと、授業・行事・実習・就職・学校生活指導全般の指導を行った。
- ・カリキュラムマップに基づき、学習内容の順次性と、教科間の関連性を意識した授業展開を強化した。
- ・ディプロマ・ポリシーに基づき、各教科が卒業までに身に着けるべき能力のどの項目と関連するかを意識した授業展開を強化した。

コロナ禍の影響も残り、多様性を求められる中、「一緒に仕事をしたい人材」という目標の基に、学校運営を行った。その結果、両分野とも高い実習評価・検定合格率・就職率を残すことができた。

一方で、コロナ禍終息に伴い、行事・授業展開等が常時に戻る中での生徒の戸惑いも感じられ、平時に戻すことが目的とならないように確認しながら進めていく必要性を感じた。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- ・マッチングや妥当性。
- ・生徒、保護者との継続した浸透。

② 今後の改善方策

- ・継続した情報収集を幅広く行なっていく。
- ・保護者へ発送している定期通信に意識的に盛り込む。

③ 特記事項

- ・特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

・教職員間の情報リテラシーの個人差。

② 今後の改善方策

・学内勉強会の実施。

③ 特記事項

・特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・講義授業、演習授業、外部実習までの流れの体系的な位置づけが弱い。

② 今後の改善方策

・カリキュラムマップの浸透・活用による教科間連携を強化する。
 ・体系的且つ全体像を実習指導やHRにて示す。

③ 特記事項

・特になし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

・退学率が、コロナ禍前の平時の数値に戻っている。

② 今後の改善方策

・授業や行事が対面に戻る環境への戸惑いや人間関係構築において、担任と教科担当が連携情報共有をしながら生徒指導にあたる。スクールカウンセラーへの適時案内、保護者との連携を強化。

③ 特記事項

・特になし

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

・姉妹校以外の連携強化。

② 今後の改善方策

・キャリア教育・職業教育の周知。

③ 特記事項

- ・立川市教育委員会等協賛のもと、中学生向けお仕事体験イベントを開催(2021～)
- ・小平第4中学校(職業体験授業)連携(2022～)

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・こども総合学科 3 年生のインターンシップは、受け入れ先のご理解や業務の差が生じている。

② 今後の改善方策

・依頼の時期を早め、余裕を持ったスケジュールで主旨を受け入れ先のご理解をいただいた上で進めていく。

③ 特記事項

・特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・特になし

② 今後の改善方策

- ・特になし

③ 特記事項

- ・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018年度～2022年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023年度～2027年度)を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・地域連携（親子参加型）イベントを開催。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナが収束し平時に戻りつつある中、社会情勢も大きく変化する中で社会のニーズを捉えていくことや、若者の意志の変化に合わせた指導を意識する必要性を改めて感じる。実習に行く目的の明確化や意欲の向上のためにも、授業の中で生徒が発信する機会を増やしていきたい。

また、「一緒に仕事をしたい人材」とはどんな人材か、今回ご意見を頂き、学科問わず人としての素質と社会に出てからも適応できるポジティブな意志が大切であることを再確認ができたので、まずは職員が生徒に示す意味でも一緒に仕事をしたいと思える職員育成をしていきたい。

今年度は、大きな行事もコロナ前の大きな規模に戻るため、生徒がより成長できる機会も増えるので、学校一丸となって、逞しく前向きに働ける社会人育成に取り組んでいきたい。